

令和7年度 中央区立宇佐美学園 学園経営計画

中央区立宇佐美学園
園長 平山 尚彦

1 教育目標

【城東小学校の教育目標】

時代がいかに変化しようとも、柔軟に対応し次代を担うことのできる、心身ともに健康で、勤労と責任を重んじ、広く国際社会において信頼と尊敬を得られる人間性豊かな人を育てることを目指して、次の目標を掲げ教育活動を推進する。

- やさしさと感謝
- しなやかにねばり強く
- 気づき、考え、つくり出す

【宇佐美学園の教育目標】

人権尊重教育の精神を基盤とし、主体的な判断力や実践力をもち、深い思いやりのある心身ともに健康な児童の育成を目指して、次の目標を掲げ、学校教育を推進する。

- じょうぶになろうと努力する子（健康）
- 自ら考え進んで努力する子（社会性）
- 人を愛し自然を愛する子（自立）
- 学び合い高め合う子（学習）

2 学園経営の基本方針

一人一人が自信をもって輝く宇佐美学園 ～ 人と自然との豊かなかかわりの中で

昭和12年に開園した宇佐美学園は豊かな自然と地元の方々の温かな支えのもと、長きにわたり健康学園として子どもたちの健やかな心と体を育ててきた。

子どもたちが自らのチャレンジシップを達成して、自信をもって出身校で力を発揮できるようにするためには、豊かな人間関係のもと、子どもたちが互いに高め合い、一人一人が輝ける学園生活をつくる必要がある。そのために、家族と離れた子どもたち同士の共同生活、豊かな自然、少人数による学習活動など、宇佐美学園ならではの教育環境を最大限に生かした教育活動を推進していかねばならない。学校・寮が一体となり、保護者や地元の方々の信頼と協力を得ながら、子どもたちの調和のとれた知・徳・体を育てていけるよう、教育活動の充実に取り組んでいきたい。

3 重点目標と取組内容

(1) 健康でたくましい心と体づくり

① 健康活動や体育学習の充実

チャレンジシップの達成に向けて、意欲をもって継続的に取り組める健康活動や体育学習の内容を工夫し、各自のチャレンジシップに向けて粘り強く取り組む心と、たくましい体を育てる。

② 食育指導の充実と望ましい生活習慣の確立

3度の食事やおやつと連携させながら継続した食育指導を行うとともに、規則正しい生活を通して、健康な体と自ら生活を律する力を育てる。

(2) 豊かな心と人間関係の涵養

① 協同と協働を通じた人間関係の育成

同学年・異学年の子どもたちが目標を共有し、寝食をともにして学ぶ生活を通して、励まし合い、切磋琢磨しながら相手を思いやる心と豊かな人間関係を育てる。

② 自然環境を生かした体験的活動の充実

豊かな自然の中で仲間とともに体験的な活動に取り組むことを通して、豊かな感性や自然を愛する心を育てる。

(3) 確かな学力の定着と伸長

① 授業の充実

ねらいを明確にし、地域教材やICTほか教育ツールを有効に活用した分かりやすい授業を通して、自ら進んで考え、表現する力を育てる。

② 個に応じた指導の充実

少人数を生かし、個に応じたきめ細かな指導を行うことで、基礎・基本の確実な定着と、個々のよさの伸長を図る。

4 目標達成のための取組

(1) 指導力・児童理解力・組織力の向上

① 研修・研究の場の設定と内容の充実に努めるとともに、職員同士が得意分野や持ち味を生かして学び合い、補完し合いながら高め合えるようにする。

② 学校・寮それぞれの視点で捉えた子どもの状況を共有し、児童理解や指導に生かす。

③ 学校・寮・食堂の職員が個々及び組織としての情報共有を密にし、全職員が共通理解のもと、組織として連携しながら子どもの指導にあたる。

(2) 保護者・地域・出身校・学園の連携

① 離れて生活する保護者への連絡や情報発信、学校公開等の場を生かした情報共有など連携に努め、信頼と協力を得ながら子どもが安心して学習・生活ができるようにする。

② 地域人材の講師招請、地域行事への参加など、地域の方々の協力を得ながら、宇佐美に立地することのよさを生かした教育活動を行う。

③ 行事、学園だより、出身校訪問などを通して出身校との情報共有や共通理解を図るとともに、保護者と出身校との連携を促し、子どもが出身校に戻って自信をもって力を発揮できるようにする。

寄り添い、見守り、ひと手間かけて丁寧に